

比例2次予定候補に垣内京美氏 総選挙勝利へ 中国5県 19小選挙区の予定候補発表 市民と野党の共闘の声 広がる



12月5日党中央委員会は、総選挙勝利をめざして小選挙区予定候補を発表しました。中国地方では20の小選挙区のうち、野党共闘が確認されている広島6区以外の19の選挙区で予定候補を発表しました。

さらに、中央は12月12日には現職衆議院議員（中国ブロックでは大平喜信衆議院議員）に続く「比例2次候補」を発表。中国ブロックでは、准中央委員・岡山地区委員長の垣内京美さんを発表しました。

また、12月4日には岡山で市民団体が「立憲野党が協力して政府をつくろう」と「共通政策」を提案するなど、総選挙での野党協力を求める声と運動が広がっています。（写真は、「おかやまいっぽん」が開催した市民集会）

大平議員 10・11日 中国5県で「臨時国会報告」 総選挙での議席増 党大会成功を訴え



臨時国会が最終盤を迎えるなか、大平喜信衆議院議員は、10・11日の二日間で中国5県を訪れ、臨時国会の報告を行いました。（写真左は広島、右は米子での報告会）

大平議員は、安倍内閣の暴走ぶりをリアルに報告するとともに、安倍暴走政治と対決する野党共闘と日本共産党のたたかいぶりを報告しました。そして来るべき総選挙の勝利、日本共産党の第27回党大会の成功に向け「ぜひ多くの方に日本共産党へ」と訴えました。

岩国所属の米軍機墜落事故・中国地方全体から抗議の声を